

専修学校の更なる質保証・向上に向けた課題に対する取組の方向性（案）

平成26年度「職業実践専門課程の実態等に関する調査研究」において明らかとなった各課題について、下記のように取り組んでいくこととする。

1. 職業実践専門課程の取組充実

<課題>

職業実践専門課程の認定要件等に、新たに追加した方がよいものとして、「認定課程に対する定期的なモニタリングや実態調査の仕組み」等があげられた。

<取組の方向性>

- ⇒ 平成27年度以降も継続的に職業実践専門課程の実態を調査
- ⇒ 専門学校による自律的・継続的な改善を促進
(参考) 全専各連「職業実践専門課程」指針

2. 学校評価の充実

<課題>

学校評価に関する課題や望ましい支援として、「評価者として求められる役割や評価する際のポイントが不明確である」、「学校関係者評価等の運営に係るガイドブックの作成」等があげられた。

<取組の方向性>

- ⇒ 「専修学校における学校評価実践の手引き」（平成27年3月）の活用促進
- ⇒ 学校評価に関する教職員研修の実施
- ⇒ 職業実践専門課程を中心とした第三者評価の試行導入

3. 産学連携体制の構築・推進

<課題>

職業実践専門課程の認定要件を満たすために望ましい支援として、「職業実践専門課程の認知度向上」、「学校と企業等との連携に向けたマニュアルや手引きの作成」等があげられた。

<取組の方向性>

- ⇒ 職業実践専門課程の認知度向上に向けた取組
 - ・ 職業実践専門課程サイトの開設・充実
 - ・パンフレット等により高校関係者や企業等に対して積極的に周知
- ⇒ 産学連携体制構築に向けたガイドラインの作成

(1) 企業連携の推進

(2) 社会人に必要な人間力の育成

(3) 専門教育の充実

(1) 企業連携の推進

- ① インターンシップや実習など現場で学ぶ機会の拡大
- ② 実務経験者による授業の実施
- ③ 専門学校と企業間の情報共有化の推進
- ④ 共同開発や共同事業の実施 等

<グループインタビュー調査より>

「企業と専門学校がさらに距離を縮めて協力することで人材採用のミスマッチが防止できる」

(2) 社会人に必要な人間力の育成

- ① 社会人に求められる精神性(目的意識、モラルや向上心等)の獲得
- ② 社会人に相応しい一般常識・知識の習得
- ③ 対応力やコミュニケーション力の向上 等

<グループインタビュー調査より>

「実習を通じて、失敗を恐れずに自らの頭で考え、「とりあえずやってみる」姿勢を学ぶことができれば、卒業後も自ら行動していける人材を育成できる」

(3) 専門教育の充実

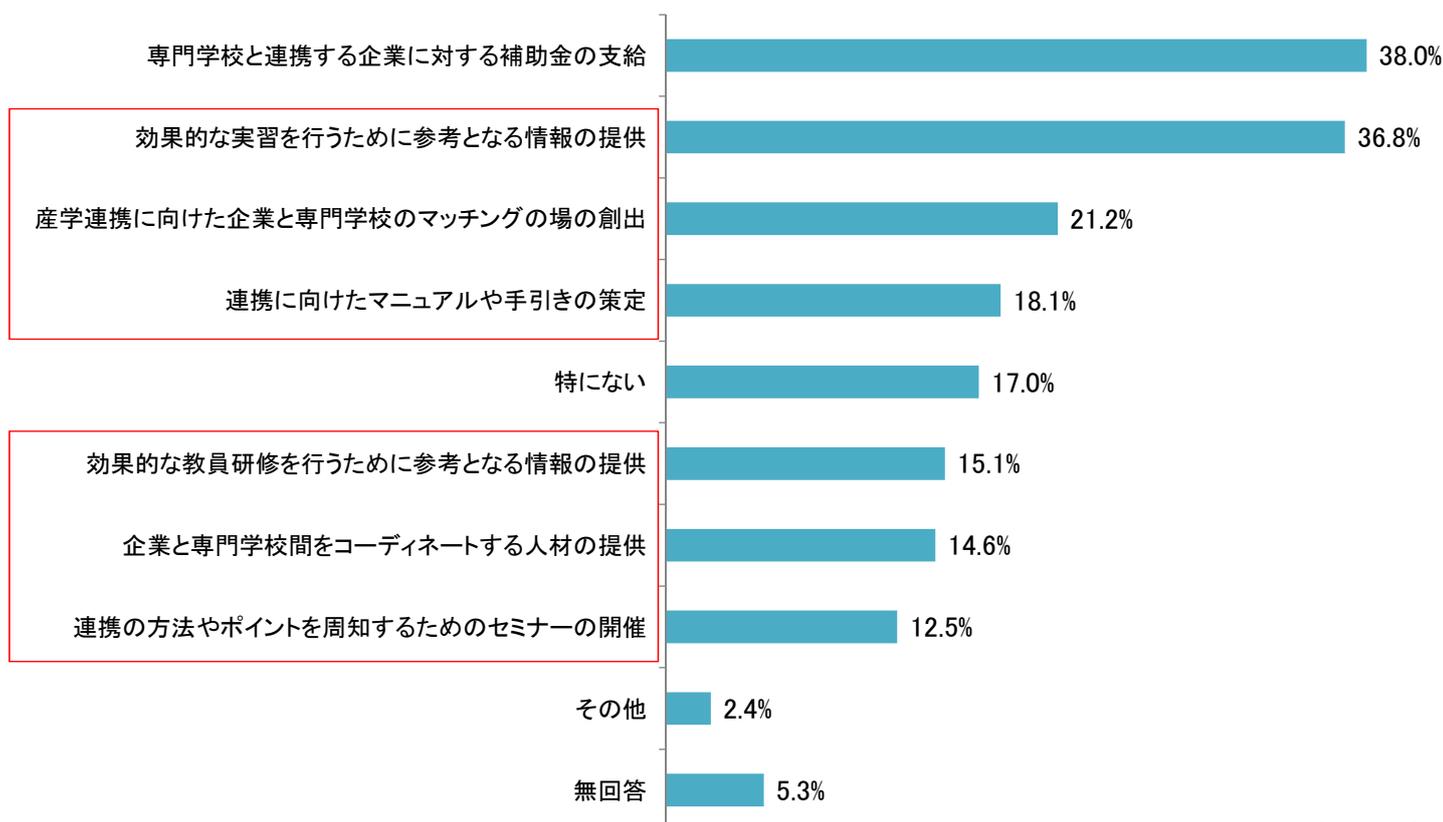
- ① 専門的な知識や技能を習得できる環境の提供
- ② 教員の能力やスキルの向上 等

<グループインタビュー調査より>

「専門学校には業界の最新動向をキャッチしてほしい。学生には授業のみならず実習・演習を通じて最新の技術・知識を獲得し、より高いレベルでの即戦力として成長してほしい」

※文部科学省平成26年度委託事業「『職業実践専門課程』の実態等に関する調査研究」より

専門学校との連携を図るために、都道府県や関係団体等に支援してほしいこと



(n=1,356)